

《書道分野》

科目	書道Ⅰ	単位数	2	区分	選択必履修	
教科書・教材	光村 『書Ⅰ』			配当年次	2年次	
授業のねらい・概要						
基礎的な書写能力を養うとともに、書の表現や鑑賞を理解する。 ①古典を学習を通して基礎的な用筆や鑑賞能力を身につけよう。 ②感性豊かに自分の個性を生かした創造的な表現を楽しく展開しよう。						
授業の進め方						
教科書及び学習プリントにより、実技を中心に授業をすすめ、各課題で作品を制作する。						
		学習の内容			考查	時数
前期	4月	書写から書道へ（用具用材の理解）			中間	17
	5月	・楷書 四大家の臨書				
	6月	・篆刻				
前期	7月	くれき野祭に向けた作品制作（楷書創作）			期末	18
	8月	・表装に挑戦				
	9月	細字に慣れる				
後期	10月	・細楷			中間	17
	11月	・仮名の成り立ちと用筆				
	12月	実用面に眼を向ける				
後期	1月	・暮らしの中の書（熨斗・手紙の書き方）			期末	18
	2月	・刻字（創作）				
評価の方法						
出席状況・学習態度・作品の作製などを総合的に評価する。						
備考						
「書道Ⅰ」・「音楽Ⅰ」の2科目から選択必履修。						

科目	書道Ⅱ	単位数	2	区分	選択必履修	
教科書・教材	光村 『書Ⅱ』			配当年次	3年次	
授業のねらい・概要						
書道Ⅰを踏まえて、芸術的表現に挑戦し、鑑賞力を養う。 ①古典臨書を通して様々な書体に親しむとともに、それぞれの基本を身につけよう。 ②個性的な表現を鑑賞しながら、自らも創作に挑戦しよう。						
授業の進め方						
教科書及び学習プリントにより、実技を中心に授業をすすめ、各課題で作品を制作する。						
		学習の内容			考查	時数
前期	4月	書体の変遷を理解する			中間	17
	5月	・篆書				
	6月	・隸書				
前期	7月	・篆刻（刻字）			期末	18
	8月	くれき野祭に向けた作品制作（創作）				
	9月	・草書				
後期	10月	・行書			中間	17
	11月	・楷書				
	12月	仮名に親しむ				
後期	1月	・変体仮名と百人一首			期末	18
	2月	書学習のまとめ				
評価の方法						
出席状況・学習態度・作品の作製などを総合的に評価する。						
備考						
「書道Ⅰ」を履修・修得済みのこと。						

科目	実用書道	単位数	2	区分	選択	
教科書・教材	硬筆検定資料、教材プリントほか			配当年次	4年次	
授業のねらい・概要						
実用的な場面を想定し、日常生活に即した応用力を養う。 ①様々な書体に親しむとともに、硬筆書写の基本を身につけよう。 ②実用的な場面を想定した練習を重ねながら、用具の特性を知り、それぞれを使いこなして書けるようにしよう。						
授業の進め方						
教科書及び学習プリントにより、実技を中心に授業をすすめ、各課題で作品を制作する。						
		学習の内容			考查	時数
前期	4月	硬筆の学習（鉛筆・ボールペン・マジックペン・筆ペン等の使い			中間	17
	5月	・平仮名の成り立ち理解と練習				
	6月	・片仮名の成り立ち理解と練習				
前期	7月	・漢字の間架結構の理解			期末	18
	8月	・布置章法の理解				
	9月	実用的な場面を想定した練習				
後期	10月	・芳名簿や熨斗、手紙や宛名			中間	17
	11月	・各種書類				
	12月	・年賀状や寒中見舞い				
後期	1月	・賞状や奉書紙			期末	18
	2月	・ホワイトボード				
評価の方法						
出席状況・学習態度・作品の作製などを総合的に評価する。						
備考						